

金山小学校・幾寅小学校の5年生児童 「太平洋・島サミット」に参加しました

5月22日・23日に占冠村で開催された「日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議（太平洋・島サミット）」において、23日に地元交流プログラムが行われ、本町の小学校5年生全員が参加して、参加国の首脳らと交流を深めました。

地元交流プログラムには、上川および十勝管内の42の小学校から130名の児童が参加し、本町からは、金山小学校3名、幾寅小学校13名の児童が参加しました。交流では、8名ずつの2グループに分かれて、トンガ王国とナウル共和国の首脳と交流し、児童一人ひとりが町や学校生活について紹介したあと、通訳を通して、「主食はなんですか」「夏の気温は」「生息している動物は」などと次々に質問をしていました。



△トンガ王国首脳との交流を行う幾寅小・金山小の児童

一緒に短冊に書いた願いには、「未来の地球は緑豊かになっていきますように」「地球温暖化が止まりますように」などと書かれており、児童の皆さんは、交流した国・地域の文化や歴史とともに、自然環境を守っていく大切さも学んでいました。交流の最後には、児童の皆さんにトンガ王国の首脳



△ナウル共和国首脳との交流を行う幾寅小の児童

からバツジがプレゼントされ、ナウル共和国の首脳からは首脳の名刺が手渡され「質問があれば、メールしてください」と言われるなど、あたたかい対応に、児童の皆さんも大変喜んでいました。

今回の交流は、児童の皆さんにとって、心に残る貴重な体験となったようです。

町政への理解と協力を願う 平成21年度出張員会議



執行にあたっての所信と基本方針を述べ、各担当課長からそれぞれの所管事項について説明を行いました。

このあと質疑応答に入り、出張員の皆さんから、「公営住宅周辺の環境整備」「出張員制度の見直し」「テレビ放送のデジタル化」などについて質問が出され、町としての考え方を述べるとともに、今後の町政に理解と協力をお願いしました。



町政執行にあたり、町民皆さんの協力を願うことを目的に毎年行われている出張員会議が、6月3日みなくろで開催され、出張員の皆さん24名と連合町内会長2名が出席しました。

会議では、はじめに池部町長から、町政を取り巻く諸情勢や、国の緊急経済対策に関する本町の取り組み、ポテトチップス製造工場の建設や森林資源の有効活用をはじめとする農林業の振興、自然環境の保全、テレビの地上デジタル化整備など、本年度に取り組む重点施策の概要と、町政

学校・地域の大イベント「運動会」

6月6日の金山地区を皮切りに町内各地域や学校で運動会が行われました。今年は、週末になると雨の日が多く、屋内での開催や順延となった学校もありましたが、参加した皆さんは、元気いっぱいに競技を楽しんでいました。7月号と8月号の2回に分けて掲載します。



6/9 幾寅小学校「運命の赤い糸」

6/9 幾寅小学校「棒引き」

6/6 金山合同「できるかな」

金山合同「バットボールリレー」

金山合同「デカパンリレー」

6/14 下金山連合「公家でも守ろう。赤は、もどれ」

金山合同「ソーラン節」

下金山連合「むかで競争」

6/17 南富良野中学校「長縄跳び」

下金山連合「コーンをねらえ」

南富良野中学校「天竜下れば」